

10) 障害者雇用制度の評価

Q. 障害者雇用制度で就労することについて、次のようなことを感じますか（複数回答）

「通院しやすくなる」「体調に合わせて働ける」等メリットを感じる一方、「収入が下がる」「昇進や仕事内容が制限される」等デメリットも感じている。とくに「職場で誰に病名が明らかになるか不安」を挙げた人が60.0%と最も多かった。

	n	%
体調に合わせて働ける	106	30.7
昇進や仕事内容が制限される	76	22.0
通院がしやすくなる	105	30.4
収入が下がる	124	35.9
病名をかくす精神的負担が軽くなる	73	21.2
職場で誰に病名が明らかになるか不安	207	60.0
障害者として特別あつかいされたくない	102	29.6
とくに何も感じない	50	14.5
全体	345	
無回答	24	
全体	369	

## 6 ふだんの生活と人間関係

1) 地域活動・社会活動・陽性者ネットワーク

Q. この1年くらいの間、次のような活動をしましたか（複数回答）

「友人との外食」が68.4%と最も多い。「インターネット・メール・SNS」は54.3%、提示した項目のいずれもしていない人は13.5%。

	n	%
HIV陽性者の会やグループ活動	28	7.7
国内旅行（宿泊あり）	187	51.4
ボランティア活動	37	10.2
海外旅行	54	14.8
スポーツ活動	127	34.9
インターネット・メール・SNS	200	54.9
趣味・娯楽活動	181	49.7
HIV陽性者とのインターネット・メール・SNS	51	14.0
学習・研究活動	59	16.2
友人との外食	249	68.4
技能習得や資格取得の活動	60	16.5
いずれの活動もしていない	49	13.5
全体	364	
無回答	5	
全体	369	

2) 周囲の人たちへの病名開示

Q. 次の人たちにあなたがHIV陽性であることを知らせていますか。知らせている場合、おおよそ何人くらいに知らせていますか。

この病名開示の質問は、「知らせている」「知らせていない」「そもそも、その関係の人がいない」の3択であったが、回答状況から判断して、その関係性の人があるか否かは分からないが、病名を伝えている相手はいることが明らかな場合、「関係者がいるか不明だが、知らせていない」として再集計した。例えば、親が生きているか否かは分からないが、いずれにしても病名は伝えていない場合がこれに該当する。

関係性別、病名開示

		知らせて いる	知らせて いない	そもそも、 その関係 の人がい ない	関係者が いるか不 明だが、 知らせて いない	合計	無回答	合計
家族・パートナー								
	n	128	149	43	43	363	6	369
親	%	35.3	41.0	11.8	11.8	100.0		
	n	120	162	33	48	363	6	369
きょうだい	%	33.1	44.6	9.1	13.2	100.0		
	n	55	39	203	65	362	7	369
夫・妻	%	15.2	10.8	56.1	18.0	100.0		
	n	88	32	163	80	362	6	369
パートナー	%	24.2	8.8	44.9	22.0	100.0		
	n	47	49	180	87	363	6	369
元の夫・妻・パートナー	%	12.9	13.5	49.6	24.0	100.0		
	n	19	61	212	71	363	6	369
子ども	%	5.2	16.8	58.4	19.6	100.0		
	n	32	164	89	78	363	6	369
その他の親戚	%	8.8	45.2	24.5	21.5	100.0		
友人・知人								
	n	94	72	139	58	363	6	369
面識のある、HIV陽性者	%	25.9	19.8	38.3	16.0	100.0		
	n	138	166	30	29	363	6	369
面識のある、その他知人	%	38.0	45.7	8.3	8.0	100.0		
	n	43	71	229	20	363	6	369
ネット上の、HIV陽性者	%	11.8	19.6	63.1	5.5	100.0		
	n	10	121	210	22	363	6	369
ネット上の、その他知人	%	2.8	33.3	57.9	6.1	100.0		
仕事関係								
	n	25	181	85	72	363	6	369
同僚・部下	%	6.9	49.9	23.4	19.8	100.0		
	n	25	169	94	75	363	6	369
直属の上司	%	6.9	46.6	25.9	20.7	100.0		
	n	26	175	88	74	363	6	369
雇用主・役員などの管理職	%	7.2	48.2	24.2	20.4	100.0		
	n	15	178	96	74	363	6	369
人事担当	%	4.1	49.0	26.4	20.4	100.0		
	n	10	160	117	76	363	6	369
産業医・社内診療所医師	%	2.8	44.1	32.2	20.9	100.0		
その他								
	n	6	110	128	72	316	53	369
その他の関係の人	%	1.9	34.8	40.5	22.8	100.0		

関係性別、病名を知らせている人数

		1人	2人	3~4人	5~9人	10~ 29人	30人 以上	合計	非該当	無回答 (主問)	無回答 (人数)	合計
<b>家族・パートナー</b>												
	n	58	66	3				127	235	6	1	369
親	%	45.7	52.0	2.4				100.0				
	n	70	36	9	4			119	243	6	1	369
きょうだい	%	58.8	30.3	7.6	3.4			100.0				
	n	54		1				55	306	7	1	369
夫・妻	%	98.2		1.8				100.0				
	n	85	2	1				88	274	6	1	369
パートナー	%	96.6	2.3	1.1				100.0				
	n	33	8	6	1			48	315	6		369
元の夫・妻・パートナー	%	68.8	16.7	12.5	2.1			100.0				
	n	10	9					19	343	6	1	369
子ども	%	52.6	47.4					100.0				
	n								331	6	32	369
その他の親戚	%											
<b>友人・知人</b>												
	n	44	19	10	11	7	2	93	268	5	3	369
面識のある、HIV陽性者	%	47.3	20.4	10.8	11.8	7.5	2.2	100.0				
	n	62	29	20	12	11	2	136	225	5	3	369
面識のある、その他知人	%	45.6	21.3	14.7	8.8	8.1	1.5	100.0				
	n	11	8	3	7	6	5	40	320	6	3	369
ネット上の、HIV陽性者	%	27.5	20.0	7.5	17.5	15.0	12.5	100.0				
	n	2	3		1	2	2	10	353	5	1	369
ネット上の、その他知人	%	20.0	30.0		10.0	20.0	20.0	100.0				
<b>仕事関係</b>												
	n	11	7	3	3	1		25	338	6		369
同僚・部下	%	44.0	28.0	12.0	12.0	4.0		100.0				
	n	15	7	1	1			24	338	6	1	369
直属の上司	%	62.5	29.2	4.2	4.2			100.0				
	n	13	10	2				25	337	6	1	369
雇用主・役員等の管理職	%	52.0	40.0	8.0				100.0				
	n	12	1	1				14	348	6	1	369
人事担当者	%	85.7	7.1	7.1				100.0				
	n	7	2	1				10	353	6		369
産業医・社内診療所医師	%	70.0	20.0	10.0				100.0				
<b>その他</b>												
	n	3	1				1	5	310	53	1	369
その他の関係の人	%	60.0	20.0				20.0	100.0				

3) HIV開示しての就学・就労の相談先

Q. HIV陽性であることを伝えて、就学や就労、就職について相談した先を教えてください（複数回答）

「医師」「看護師・コーディネータ」「パートナー・家族」の順だが、誰にも相談していない人が43.0%と最も多い。ハローワークは10.2%、障害者職業センターは1.8%。

	n	%
友人	59	17.3
インターネット上の友人	5	1.5
パートナー・家族	48	14.0
医師	101	29.5
看護師・コーディネーター	43	12.6
医療相談員・ソーシャルワーカー	78	22.8
心理カウンセラー	44	12.9
保健所・保健センター	2	0.6
福祉事務所・市町村福祉担当	20	5.8
ハローワーク・職安	35	10.2
障害者職業センター	6	1.8
障害者対象の就職あっせん会社	3	0.9
ボランティア・患者支援団体	8	2.3
その他	4	1.2
誰にも相談していない	147	43.0
全体	342	
無回答	27	
全体	369	

4) 主治医からの就労アドバイス

Q. HIVの主治医からは、あなたが働くことについて何とされていますか

50.6%の人は「とくに制限なく働くことを勧められている」としている。「時間や仕事内容を制限するよう言われている」は9.8%、「働かない方が良い」は2.0%

	n	%
とくに制限なく、働くことをすすめられている	180	50.6
時間や仕事内容を制限して働くように言われている	35	9.8
働かない方がよいと言われている	7	2.0
とくに何も言われていない	134	37.6
合計	356	100.0
無回答	13	
	369	

5) 将来の就労意向

Q. 将来の生活で、あなたは働くことについてどのようにお考えですか

59.8%の人は「制限なく働いていきたい」としている。32.4%が健康状態に合わせた制限や調整をして働きたいとしている。

	n	%
とくに制限しないで、働いていきたい	214	59.8
健康状態に合わせた制限や調整をして、働いていきたい	116	32.4
できれば働きたくない・働くつもりはない	28	7.8
合計	358	100.0
無回答	11	
	369	

6) 将来の生活設計

Q. ご自身の将来の生活設計について、何年くらい先のことまで考えていますか

1年以上5年未満という直近の将来までのこととした人が24.0%と最も多いが、10年、20年先の長期的な生活設計を考えている人も少なくない

	n	%
1年未満	27	7.4
1年～5年未満	87	24.0
5年～10年未満	84	23.1
10年～20年未満	57	15.7
20年以上先	44	12.1
考えたことがない	64	17.6
合計	363	100.0
無回答	6	
	369	

7) 病気による制約感

Q. 病気や障害をもって生活する上で、ふだん制約を受けたり、自分で制約していると感じることがありますか

最も制約感（かなり＋少し制約あり）が強かったのは性生活80.5%、次いで子を持つこと74.4%、結婚69.2%、恋人との関係や出会い57.0%、将来の働き方や進路・職業選択40.5%、家族や親せきとの関係35.5%。生活習慣も33.9%が制約ありとしている。  
全体に、日々の生活よりも、人間関係や人生設計に関わることへの制約感の方が高い。

		かなり 制約あり	少し 制約あり	ほとんど 制約はない	まったく 制約はない	合計	無回答	合計
生活習慣（食事・喫煙・飲酒など）	n	21	99	90	144	354	15	369
	%	5.9	28.0	25.4	40.7	100.0		
外出や行動の範囲	n	12	53	109	182	356	13	369
	%	3.4	14.9	30.6	51.1	100.0		
現在の働き方や学校生活	n	20	63	95	164	342	27	369
	%	5.8	18.4	27.8	48.0	100.0		
将来の働き方や進路、職業選択	n	45	95	76	130	346	23	369
	%	13.0	27.5	22.0	37.6	100.0		
家族や親戚との関係	n	56	70	85	144	355	14	369
	%	15.8	19.7	23.9	40.6	100.0		
友人との関係	n	36	67	97	155	355	14	369
	%	10.1	18.9	27.3	43.7	100.0		
恋人との関係や出会い	n	127	65	50	95	337	32	369
	%	37.7	19.3	14.8	28.2	100.0		
性生活	n	197	84	25	43	349	20	369
	%	56.4	24.1	7.2	12.3	100.0		
結婚すること	n	192	30	21	78	321	48	369
	%	59.8	9.3	6.5	24.3	100.0		
子を持つこと	n	213	25	15	67	320	49	369
	%	66.6	7.8	4.7	20.9	100.0		

8) HIV告知以降の生活意識変化

Q. HIV陽性とわかって以降、あなたの生活やお気持ちにはどのような変化がありましたか

HIV陽性とわかって以降の変化として、「健康と生活のバランスを意識するようになった」と思う（そう思う＋まあそう思う）人が70.7%、「日々の生活を大切にようになった」が67.1%、「精神的に強くなった」は44.4%、「人間関係が広がった」とした人は18.6%。

		そう思う	まあ そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	合計	無回答	合計
日々の生活を大切にようになった	n	109	130	68	49	356	13	369
	%	30.6	36.5	19.1	13.8	100.0		
人間関係が広がった	n	25	41	120	168	354	15	369
	%	7.1	11.6	33.9	47.5	100.0		
精神的に強くなった	n	64	95	96	103	358	11	369
	%	17.9	26.5	26.8	28.8	100.0		
健康と生活のバランスを意識するようになった	n	116	137	58	47	358	11	369
	%	32.4	38.3	16.2	13.1	100.0		

9) HIVによる差別回避行動

Q. HIV陽性とわかって以降この数年内の生活で、次のことをしたり感じたりしたことがありますか

「病名を隠すような言い訳を考えた」が76.9%、「病気をもっていないようにふるまった」が76.3%と多い。「知人に会うことのない病院を受診した」人も22.4%、「HIVが理由で不本意に仕事をやめた」人も15.2%

		ある	ない	合計	無回答	合計
HIVが理由で不本意に仕事をやめた	n	53	296	349	20	369
	%	15.2	84.8	100.0		
知人に会うことのない病院を受診した	n	79	273	352	17	369
	%	22.4	77.6	100.0		
すすめられたが、障害者手帳の申請をしなかった	n	20	332	352	17	369
	%	5.7	94.3	100.0		
病名を隠すような言い訳を考えた	n	273	82	355	14	369
	%	76.9	23.1	100.0		
とくに病気をもっていないかのようにふるまった	n	271	84	355	14	369
	%	76.3	23.7	100.0		

10) 差別経験

Q. 最近の生活で、HIV陽性者であることで不利な状態におかれたり、これは差別的な対応や待遇ではないかと感じた経験がありますか

ある人（よく＋時々）は19.9%。職場や地域で病名を開示していない人が多いため、直接的な差別経験が少ないためと思われる。

	n	%
よくある	18	5.0
時々ある	53	14.8
あまりない	150	42.0
まったくない	136	38.1
合計	357	100.0
無回答	12	
	369	

## 7 就労について

### 1) 就労の有無

Q. 先月末の1週間に、収入をとまなう就労をしましたか（自営の手伝いや内職も含む）  
「主に就労」している人は65.0%、「就労していない」人は30.3%

	n	%
主に就労	238	65.0
家事などのかたわら就労	10	2.7
通学のかたわら就労	3	0.8
休んでいたか休職中	4	1.1
就労していない	111	30.3
合計	366	100.0
無回答	3	
	369	

## 8 就労の状況

### 1) 1か月の就労日数

Q. 先月1ヶ月間に就労した日数を教えて下さい（仕事を休んでいた人は0）  
就労している人の82.5%は週20日以上働いている。

	n	%
休職中	3	1.2
20日未満	41	16.3
20～23日	142	56.6
24～27日	54	21.5
28日以上	11	4.4
合計	251	100.0
非該当（非就労）	111	
無回答（主問）	3	
無回答	4	
合計	369	

### 2) 1週間の就労日数と時間

Q. 先月末の1週間に就労した日数と時間数を教えて下さい（仕事を休んでいた人は0）

就労している人の90.1%は週5日以上働いている。

就労している人の79.8%は週35時間以上働いている。週60時間以上の長時間労働者も13.3%

	n	%
0日	4	1.6
1日	2	0.8
2日	2	0.8
3日	4	1.6
4日	13	5.2
5日	155	61.5
6日	61	24.2
7日	11	4.4
合計	252	100.0
非該当（非就労）	111	
無回答（主問）	3	
無回答	3	
合計	369	

	n	%
休職中	4	1.7
週1～14時間	8	3.4
週15～29時間	22	9.4
週30～34時間	13	5.6
週35～42時間	84	36.1
週43～48時間	39	16.7
週49～59時間	32	13.7
週60時間以上	31	13.3
合計	233	100.0
非該当（非就労）	111	
無回答（主問）	3	
無回答	22	
合計	369	

3) 健康問題による休暇・休業

Q. この1年間に、通院や入院、健康上の理由で仕事を休んだ日数を教えてください

健康管理や健康状態を理由に有給休暇をとった人は、就労者のうち38.2%。取得者のうち86.3%は10日以下。

有給休暇	n	%
休んでいない	154	61.8
休んだ	95	38.2
合計	249	100.0
非該当 (非就労)	111	
無回答 (主問)	3	
無回答	6	
	369	

有給休暇日数	n	%
1~5日	38	40.0
6~10日	44	46.3
11~15日	5	5.3
16~20日	6	6.3
21日以上	2	2.1
合計	95	100.0
非該当 (Q7_3)	154	
非該当 (非就労)	111	
無回答 (主問)	3	
無回答 (Q7_3)	6	
	369	

健康管理や健康状態を理由に欠勤した人は、就労者のうち14.9%。欠勤した人のうち83.8%は10日以下。

欠勤	n	%
休んでいない	212	85.1
休んだ	37	14.9
合計	249	100.0
非該当 (非就労)	111	
無回答 (主問)	3	
無回答	6	
	369	

欠勤日数	n	%
1~5日	25	67.6
6~10日	6	16.2
11~15日	1	2.7
16~20日	3	8.1
21日以上	2	5.4
合計	37	100.0
非該当 (Q7_3)	212	
非該当 (非就労)	111	
無回答 (主問)	3	
無回答 (Q7_3)	6	
	369	

健康管理や健康状態を理由に傷病休暇をとった人は、就労者のうち6.4%。取得者のうち37.5%は10日以下。21日以上は31.3%。

傷病休暇	n	%
休んでいない	233	93.6
休んだ	16	6.4
合計	249	100.0
非該当	111	
無回答 (主問)	3	
無回答	6	
	369	

傷病休暇日数	n	%
1~5日	4	25.0
6~10日	2	12.5
11~15日	4	25.0
16~20日	1	6.3
21日以上	5	31.3
合計	16	100.0
非該当 (Q7_3)	233	
非該当 (非就労)	111	
無回答 (主問)	3	
無回答 (Q7_3)	6	
	369	



有給休暇制度がない人も12.0%

有給制度がない		
	n	%
有給制度がある	219	88.0
有給制度がない	30	12.0
合計	249	100.0
非該当（非就労）	111	
無回答（主問）	3	
無回答	6	
	369	

就労者の39.8%は、この1年間に通入院や健康上の理由で仕事を1日も休んでいない。

通院や健康上の理由では休んでいない		
	n	%
休んだ	150	60.2
休んでいない	99	39.8
合計	249	100.0
非該当（非就労）	111	
無回答（主問）	3	
無回答	6	
	369	

#### 4) 就労収入

Q. この1年間の、あなたのすべての仕事からの収入（税込）は、どのくらいでしたか

就労している人の、就労による年収は200万円以上300万円未満が20.9%、300万円以上400万円未満が14.2%と多い。

	n	%
なし（0円）	2	0.8
～99万	26	10.3
100～199万	46	18.2
200～299万	53	20.9
300～399万	36	14.2
400～499万	26	10.3
500～699万	32	12.6
700～999万	22	8.7
1000～1499万	5	2.0
1500万以上	5	2.0
合計	253	100.0
非該当（非就労）	111	
無回答（主問）	3	
無回答	2	
	369	

#### 5) 雇用形態

Q. あなたの雇用形態はどれですか（休職中の方は復職前のこと）

企業の正社員が41.6%と多く、パート・アルバイトが18.0%、自営業9.4%。

	n	%
自営業（個人/家族経営）	24	9.4
事業主（従業員を雇用）	11	4.3
家族従業員	2	0.8
公務員（常勤）	16	6.3
企業・団体の役員	3	1.2
企業・団体の正社員	106	41.6
契約社員	28	11.0
嘱託職員	5	2.0
パート・アルバイト	46	18.0
派遣社員	7	2.7
内職	1	0.4
その他	6	2.4
合計	255	100.0
非該当（非就労）	111	
無回答（主問）	3	
	369	

6) 職種

Q. あなたの職種は何ですか

サービス職26.9%、専門技術職25.7%、事務職16.2%など、ホワイトカラーが多く、労務作業的な職種が少ない。

	n	%
専門・技術職	65	25.7
管理職	16	6.3
事務職	41	16.2
販売職	22	8.7
サービス職	68	26.9
保安職	3	1.2
農林漁業	3	1.2
生産工程	10	4.0
輸送・機械運転	6	2.4
建設・採掘	3	1.2
運搬・清掃・包装等	11	4.3
その他	5	2.0
合計	253	100.0
非該当（非就労）	111	
無回答（主問）	3	
無回答	2	
	369	

7) 勤務先の企業規模

Q. 勤務先（会社や団体全体、自営業）の従業員数は何人くらいですか

勤務先の従業員規模は、1人から1000人以上の大規模企業まで幅広い。

	n	%
1人（あなたのみ）	16	6.3
2～4人	23	9.1
5～9人	18	7.1
10～29人	36	14.2
30～99人	45	17.7
100～499人	56	22.0
500～999人	12	4.7
1000人以上	48	18.9
合計	254	100.0
非該当（非就労）	111	
無回答（主問）	3	
無回答	1	
	369	

8) 勤務先の業種

Q. 勤務先(会社や団体全体、自営業)の業種は何ですか

勤務先の業種は多様であるが、最も多いのは「医療・福祉」15.4%、次いで「卸売・小売り」10.3%、「宿泊・飲食」9.5%など、全体にサービス産業が多い。

	n	%
農・林・漁	2	0.8
建設	8	3.2
製造	31	12.3
電気・ガス・水道	4	1.6
情報通信	17	6.7
運輸・郵便	10	4.0
卸売・小売	26	10.3
金融・保険	8	3.2
不動産・物品賃貸	4	1.6
宿泊・飲食	24	9.5
医療・福祉	39	15.4
生活サービス・娯楽	10	4.0
学術研究・専門・技術	9	3.6
教育・学習支援	15	5.9
その他サービス	32	12.6
公務	12	4.7
その他	2	0.8
合計	253	100.0
非該当(非就労)	111	
無回答(主問)	3	
無回答	2	
	369	

9) 職場でプライバシー漏洩が不安な事項

Q. 伝えていない人にまで、HIVを知られる不安を感じることがありますか (複数回答)

職場で病名漏洩の不安を感じるのは、「健康保険組合から会社への情報」51.4%、「医療費明細書の通知」39.9%が多い。「健康診断」も37.9%。示した9項目いずれも不安を感じない人は16.6%で、83.4%の人がいずれかに不安を感じている。

	n	%
医療費明細書の通知	101	39.9
医療費のレセプト(医療機関からの請求)	70	27.7
社内診療所・産業医	44	17.4
付加給付金の還付	27	10.7
健康保険組合から会社への情報	130	51.4
障害者手帳を利用しての医療費助成	112	44.3
年金や税金控除などの制度利用	89	35.2
HIV陽性を知っている社員の情報管理	38	15.0
健康診断	96	37.9
どれも不安を感じない	42	16.6
全体	253	
非該当(非就労)	111	
無回答(主問)	3	
無回答	2	
全体	369	

10) 仕事・職場の評価

Q. 主な仕事での働き方や職場について、次のことをどのくらい感じますか

職場の長所、短所について11項目を挙げて尋ねたところ、「知らない間に病名が知られる不安」「病名を隠すことの精神的負担」を感じる人が多かった。

		とても 感じる	少し 感じる	あまり 感じない	まったく 感じない	合計	無回答 (主問)	非該当 (非就労)	無回答	合計
身体的、体力的なきつさ	n	30	99	80	44	253	3	111	2	369
	%	11.9	39.1	31.6	17.4	100.0				
服薬のしにくさ	n	10	46	112	82	250	3	111	5	369
	%	4.0	18.4	44.8	32.8	100.0				
通院のしにくさ	n	18	60	95	77	250	3	111	5	369
	%	7.2	24.0	38.0	30.8	100.0				
職場の人間関係の良さ	n	37	83	91	39	250	3	111	5	369
	%	14.8	33.2	36.4	15.6	100.0				
仕事のやりがいや面白さ	n	59	88	75	27	249	3	111	6	369
	%	23.7	35.3	30.1	10.8	100.0				
全体的な働きやすさ	n	51	102	66	30	249	3	111	6	369
	%	20.5	41.0	26.5	12.0	100.0				
できればやめて、別の仕事に 変わりたい	n	26	47	70	107	250	3	111	5	369
	%	10.4	18.8	28.0	42.8	100.0				
HIV感染症に対する無理解や偏見	n	44	66	82	58	250	3	111	5	369
	%	17.6	26.4	32.8	23.2	100.0				
性行動や性的指向(同性愛など) に対する偏見	n	73	70	60	43	246	3	111	9	369
	%	29.7	28.5	24.4	17.5	100.0				
病名を隠すことの精神的負担	n	86	93	46	26	251	3	111	4	369
	%	34.3	37.1	18.3	10.4	100.0				
知らない間に病名が知られる不安	n	107	75	44	26	252	3	111	3	369
	%	42.5	29.8	17.5	10.3	100.0				

## 9 非就労の状況

### 1) 非就労の理由

Q. 就労していない理由を教えてください（複数回答）

非就労の理由は、「年齢が高い」27.1%、「HIV感染症による体調不良」は26.2%、「就職先が決まらない」23.4%など。

	n	%
学生だから	3	2.8
家事や社会活動など他にすることがあるから	12	11.2
資格取得や進学準備のため	8	7.5
経済的に困らないから	10	9.3
定年退職したから	16	15.0
年齢が高いから	29	27.1
HIV感染症による体調不良のため	28	26.2
精神的な問題のため	17	15.9
就職先が決まらないから	25	23.4
仕事をする自信がないから	14	13.1
その他	13	12.1
全体	107	
非該当（就労）	255	
無回答（主問）	3	
無回答	4	
全体	369	

### 2) 就労準備状況

Q. 現在、仕事探しや自営業の準備をしていますか

非就労者全体の40.0%（60歳未満の非就労者では56.6%）が、就職や自営など就労の準備をしている。

	n	%
仕事を探している	38	36.2
自営業の準備をしている	4	3.8
何もしていない	63	60.0
合計	105	100.0
非該当（就労）	255	
無回答（主問）	3	
無回答	6	
全体	369	

### 3) 就労希望

Q. 現在、就労する希望がありますか

非就労者全体の56.4%（60歳未満の非就労者では77.3%）が就労を希望している。

	n	%
ある	57	56.4
ない	44	43.6
合計	101	100.0
非該当（就労）	255	
無回答（主問）	3	
無回答	10	
全体	369	

3-1) 就労希望者の非就労期間

Q. 【就労希望者に】就労を希望しているにもかかわらず、就労していない期間はどれくらいになりますか  
 非就労者のうち就労希望のある人の非就労期間は、1～3年未満が20.8%と最も多かった。49.1%は1年未満であるが、一方で3年以上に及んでいる人も30.2%。

	n	%
1ヶ月未満	4	7.5
1ヶ月～	8	15.1
3ヶ月～	9	17.0
6ヶ月～	5	9.4
1年～	11	20.8
3年～	5	9.4
5年～	7	13.2
10年以上	4	7.5
合計	53	100.0
非該当（就労）	255	
無回答（主問）	3	
非該当（Q8_3）	44	
無回答（Q8_3）	10	
無回答（Q8_3_1）	4	
	369	

4) 就労や就職活動の問題点

Q. 現在、就労や就職活動について、どのような問題点を感じていますか（複数回答）

非就労者が感じている問題点は、「年齢が合わない」42.9%、「仕事内容が合わない」12.2%といった労働条件の問題と、「体力的に不安」35.7%、「精神的に不安」25.5%、「通院との調整がとれない」30.6%といった健康問題を挙げた人が多かった。

職場28.6%と相談先16.3%での「プライバシー漏洩不安」を挙げた人も多く、「病気のことをうまく説明できない」15.3%と感じており、「HIVを伝えて就労相談できる先がない」22.4%など、病名を伝えるか否か、伝える場合どう伝えるか、伝えない場合どう働くかといった、職場のプライバシーと健康の問題を挙げた人も多かった。

	n	%
年齢が合わない	42	42.9
収入が合わない	9	9.2
仕事内容が合わない	12	12.2
自分に合う仕事が見つからない	18	18.4
家事・育児との調整がとれない	5	5.1
通院との調整がとれない	30	30.6
体力的に働けるか不安	35	35.7
精神的に働けるか不安	25	25.5
職場でプライバシーがもれないか不安	28	28.6
相談先でプライバシーがもれないか不安	16	16.3
HIVを伝えて就労相談できる先がない	22	22.4
病気のことをうまく説明できない	15	15.3
その他	2	2.0
とくに問題は感じない	17	17.3
全体	98	
非該当（就労）	255	
無回答（主問）	3	
無回答	13	
全体	369	

## 10 日本のエイズ対策への評価

### 1) 行政、医療、社会のエイズ対策評価

Q. 日本のHIV/エイズ関連の対策について、どのように感じていますか

医療への評価は高いが、一方で、学校や公的機関などでのエイズやマイノリティへの偏見対策への評価が極めて低く、9割の人が整っていない（「あまり整っていない」「整っていない」）としている。陽性者からみて感染予防対策が整っていないとしている人が63.8%。

#### 日本のHIV/エイズ関連の対策について

		整って いる	まあ 整って いる	あまり 整って いない	整って いない	合計	無回答	合計
陽性者への治療や医療体制	n	146	164	38	10	358	11	369
	%	40.8	45.8	10.6	2.8	100.0		
陽性者の就労や職場対策	n	10	71	162	96	339	30	369
	%	2.9	20.9	47.8	28.3	100.0		
陽性者が子どもをもつ選択に対する環境	n	7	52	155	112	326	43	369
	%	2.1	16.0	47.5	34.4	100.0		
HIV/エイズ対策に、陽性者の意見を 反映させる体制	n	10	67	182	78	337	32	369
	%	3.0	19.9	54.0	23.1	100.0		
HIV感染予防の教育や啓発	n	28	96	166	53	343	26	369
	%	8.2	28.0	48.4	15.5	100.0		
社会でのHIV/エイズへの理解や偏見の解消	n	7	28	144	165	344	25	369
	%	2.0	8.1	41.9	48.0	100.0		
公的機関の職員のHIV/エイズへの理解や 偏見の解消	n	12	57	150	121	340	29	369
	%	3.5	16.8	44.1	35.6	100.0		
学校での性的マイノリティ(同性愛など)への 理解や偏見の解消	n	4	16	122	190	332	37	369
	%	1.2	4.8	36.7	57.2	100.0		
社会での性的マイノリティ(同性愛など)への 理解や偏見の解消	n	5	16	129	190	340	29	369
	%	1.5	4.7	37.9	55.9	100.0		

## 11 薬物について

### 1) 薬物使用経験の有無

Q. これまでに、ドラッグや薬物を使ったことがありますか

52.1%の人がこれまでに何らかの薬物・ドラッグを使用した経験がある。

	n	%
ある	188	52.1
なし	173	47.9
合計	361	100.0
無回答	8	
	369	

1-1) 種類別薬物使用経験

Q. 【使ったことがある方に】次のドラッグや薬物を、この1年間または過去に使ったご経験があるか教えてください

使用経験率（この1年使用+過去使用）は、全体のうちラッシュ47.8%、ED薬29.3%、ゴメオ22.6%、脱法ドラッグ17.6%、ガス12.0%、覚せい剤9.8%、大麻8.9%、MDMA5.9%、シンナー4.5%の順。コカイン2.8%やヘロイン0.8%は少ない。

この1年間の使用経験率（%a）は、ラッシュ8.9%、ED薬8.7%、脱法ドラッグ5.9%、覚せい剤2.0%、ガス1.7%。その他の薬物は1%未満とわずか。

薬物使用経験が「ある」とした人の各薬物の使用率（%b）をみると、ラッシュが92.4%と高率で、ED薬56.8%、ゴメオ43.8%、脱法ドラッグ34.1%、ガス23.2%、覚せい剤18.9%など。

	いずれかの薬物使用経験あり					合計	無回答		合計
	この1年 に使った	過去に 使ったこ とがある	該当薬物 は使って いない	いずれの 薬物も使 用経験な し	(主問)		無回答		
脱法ドラッグ (ハーブ・リキッド・パウダー・アロマ・ソルト)	N	21	42	122	173	358	8	3	369
	%a	5.9	11.7	34.1	48.3	100.0			
	%b	11.4	22.7	65.9		100.0			
ぼっき薬・ED薬 (バイアグラ・シアリス・威哥王・三便宝)	N	31	74	80	173	358	8	3	369
	%a	8.7	20.7	22.3	48.3	100.0			
	%b	16.8	40.0	43.2		100.0			
5MeO-DIPT (ゴメオ・フォクシー)	N	3	78	104	173	358	8	3	369
	%a	0.8	21.8	29.1	48.3	100.0			
	%b	1.6	42.2	56.2		100.0			
ラッシュ (亜硝酸アミル系・ポツパー・RUSH)	N	32	139	14	173	358	8	3	369
	%a	8.9	38.8	3.9	48.3	100.0			
	%b	17.3	75.1	7.6		100.0			
ガス(エアダスター・ライターガス)	N	6	37	142	173	358	8	3	369
	%a	1.7	10.3	39.7	48.3	100.0			
	%b	3.2	20.0	76.8		100.0			
シンナー (有機溶剤・ボンド・トルエン・エーテル)	N	0	16	169	173	358	8	3	369
	%a	0.0	4.5	47.2	48.3	100.0			
	%b	0.0	8.6	91.4		100.0			
大麻 (マリファナ・ハンシシ・ハッパ)	N	2	30	153	173	358	8	3	369
	%a	0.6	8.4	42.7	48.3	100.0			
	%b	1.1	16.2	82.7		100.0			
覚せい剤 (シャブ・エス・スピード・ヒロポン)	N	7	28	150	173	358	8	3	369
	%a	2.0	7.8	41.9	48.3	100.0			
	%b	3.8	15.1	81.1		100.0			
MDMA(エクスタシー・X・バツ・アダム)	N	0	21	164	173	358	8	3	369
	%a	0.0	5.9	45.8	48.3	100.0			
	%b	0.0	11.4	88.6		100.0			
ヘロイン(モルヒネ・けし)	N	0	3	182	173	358	8	3	369
	%a	0.0	0.8	50.8	48.3	100.0			
	%b	0.0	1.6	98.4		100.0			
コカイン(クラック・コーク・ロック)	N	0	10	175	173	358	8	3	369
	%a	0.0	2.8	48.9	48.3	100.0			
	%b	0.0	5.4	94.6		100.0			
その他あれば教えてください	N	1	4	180	173	358	8	3	369
	%a	0.3	1.1	50.3	48.3	100.0			
	%b	0.5	2.2	97.3		100.0			

注) %aは、薬物使用経験のない人も含めた全体での割合

%bは、何らかの薬物を使用した経験のある人のうちの割合



注射針・注射器を使ったドラッグの使用経験のある人は全体の9.3% (%a)、薬物使用経験のある人の中では19.5% (%b)。

#### 注射器・針を使った薬物の使用経験

		いずれかの薬物使用経験あり				合計	無回答		合計
		この1年に使った	過去に使ったことがある	該当薬物は使っていない	いずれの薬物も使用経験なし		(主問)	無回答	
注射器・注射針を使ったドラッグや薬物	N	6	25	128	173	332	8	29	369
	%a	1.8	7.5	38.6	52.1	100.0			
	%b	3.8	15.7	80.5		100.0			

注) %aは、薬物使用経験のない人も含めた全体での割合

%bは、何らかの薬物を使用した経験のある人のうちの割合

セックスの時にドラッグを使った経験のある人は全体の40.9% (%a)、薬物使用経験のある人の中では82.8% (%b)。

#### セックスの時に薬物を使った経験

		いずれかの薬物使用経験あり				合計	無回答		合計
		この1年に使った	過去に使ったことがある	該当薬物は使っていない	いずれの薬物も使用経験なし		(主問)	無回答	
セックスの時にドラッグや薬物を使った経験	N	23	117	29	173	342	8	19	369
	%a	6.7	34.2	8.5	50.6	100.0			
	%b	13.6	69.2	17.2		100.0			

注) %aは、薬物使用経験のない人も含めた全体での割合

%bは、何らかの薬物を使用した経験のある人のうちの割合

気持ちを上げる・アップするためにドラッグを使った経験のある人は全体の25.0% (%a)、薬物使用経験のある人の中では51.5% (%b)。

#### 気持ちを上げる・アップするために使った経験

		いずれかの薬物使用経験あり				合計	無回答		合計
		この1年に使った	過去に使ったことがある	該当薬物は使っていない	いずれの薬物も使用経験なし		(主問)	無回答	
気持ちを上げるためにドラッグや薬物を使った経験	N	13	71	79	173	336	8	25	369
	%a	3.9	21.1	23.5	51.5	100.0			
	%b	8.0	43.6	48.5		100.0			

注) %aは、薬物使用経験のない人も含めた全体での割合

%bは、何らかの薬物を使用した経験のある人のうちの割合

1-2) 薬物開始時期

Q. 次のドラッグや薬物をはじめて使ったのは、ご自身のHIV感染を知る前でしたか、知った後でしたか

脱法ドラッグ/ラッシュなどの使用経験のある人のうち、感染判明前に始めた人が89.2%、感染判明後に始めた人が7.4%。

コメオ/覚せい剤/MDMAなどの使用経験のある人のうち、感染判明前に始めた人が83.8%、感染判明後に始めた人が7.6%。

注射器・注射針を使ったドラッグの使用経験のある人のうち、感染判明前に始めた人が83.3%、感染判明後に始めた人が16.7%。判明後の使用開始者の割合が高い。

		HIV感染を 知る前	HIV感染を 知った後	時期不明 だが使った	使ったこと はない	いずれの 薬物も使 用経験なし	無回答		合計	
							合計	(主問) 無回答		
脱法ドラッグ/ラッシュ/ ガス/シンナー	n	157	13	6	11	173	360	8	1	369
	%a	43.6	3.6	1.7	3.1	48.1	100.0			
	%b	89.2	7.4	3.4			100.0			
5MeO-DIPT/大麻/ 覚せい剤/MDMA/ ヘロイン/コカイン	n	88	8	9	82	173	360	8	1	369
	%a	24.4	2.2	2.5	22.8	48.1	100.0			
	%b	83.8	7.6	8.6			100.0			
注射器・注射針を使った ドラッグ	n	5	1	0	181	173	360	8	1	369
	%a	1.4	0.3	0.0	50.3	48.1	100.0			
	%b	83.3	16.7	0.0			100.0			

注) %aは、薬物使用経験のない人も含めた全体での割合

%bは、質問項目の該当薬物を使用した経験のある人のうちの割合

1-3) 薬物使用量のコントロール感

Q. ドラッグや薬物を使う量や回数について、ご自身でコントロール・調整できていますか

薬物使用経験のある人のうち88.3%の人は、薬物の使用量や回数をコントロールできている（「できている」「おおよそできている」）と感じている。

	n	%
できている	127	70.6
おおよそできている	32	17.8
あまりできていない	11	6.1
できていない	10	5.6
合計	180	100.0
非該当	173	
無回答（主問）	8	
無回答	8	
	369	

1-4) 今後の利用意向

Q. 今後、ドラッグや薬物の使用について、どのようにしたいとお考えですか

薬物使用経験のある人のうち、75.7%は「すでにやめた」としており、14.4%は利用継続意向を示している。

	n	%
もっと使いたい	1	0.6
今のまま使いたい	16	8.8
減らして使いたい	9	5.0
使うのをやめたい	18	9.9
すでにやめた	137	75.7
合計	181	100.0
非該当	173	
無回答（主問）	8	
無回答	7	
	369	

2) 必要な薬物の情報や相談

Q. ドラッグや薬物について、あなたが必要とおもう情報や相談を教えてください（複数回答）

全体の35.2%の人は、とくに必要な情報や相談はないとしている。  
「薬物の基礎的な情報」37.1%の他、「HIVと薬物との関係」36.8%、「薬物をやめるための方法や支援先」22.6%を挙げた人が多かった。「友人やパートナーなどの薬物使用の相談」も7.2%の人が挙げていた。

	n	%
薬物についての基礎的な情報	118	37.1
薬物をやめるための方法や支援先	72	22.6
HIVと薬物との関係について	117	36.8
友人やパートナー、家族などの薬物使用 についての相談	23	7.2
とくに必要な情報や相談はない	112	35.2
その他具体的に教えてください	7	2.2
全体	318	
無回答	51	
全体	369	

3) 薬物の相談先

Q. ドラッグや薬物について話したり相談したことがある先はどれですか（複数回答）

誰にも話したり相談したことはない人が59.8%と多かった。  
主な相談先は、友人、パートナー・恋人・配偶者、HIV陽性者の知人など、インフォーマルな関係の人であった。

HIV治療の医療者に相談しているとした人は7.5%。

薬物専門の医療機関や精神保健福祉センター、保健所などの専門相談機関に相談した人は極わずかであった。薬物使用者の集まり（NA、ダルク等）の利用も2.6%と少なかった。

	n	%
友人	81	26.5
パートナー・恋人・夫・妻	44	14.4
親・きょうだい・親せき	10	3.3
HIV陽性者の知人	22	7.2
インターネット上の知人	10	3.3
ボランティア・患者支援団体	8	2.6
薬物使用者の集まり（NA, ダルクなど）	8	2.6
保健所	2	0.7
精神保健福祉センター	5	1.6
HIV治療の医療者	23	7.5
精神科・神経内科	8	2.6
薬物専門の医療機関	3	1.0
誰にも話したり、相談したことはない	183	59.8
全体	306	
無回答	63	
全体	369	

## ■ 薬物に関する自由筆記 ■

「ドラッグや薬物について、あなたご自身や周囲のご経験から思うこと、参考になることがあれば教えてください」という質問に対する回答。回答者の 25.2% (277 名) から記載があった。薬物使用経験別にみると、使用経験のある 598 名のうち 33.9%、使用経験のない 487 名のうち 15.0% からの記載があった。

### 【分類方法】

ドラッグの種類別の使用状況と、使用時期(この1年以内の使用/ 1年以上前の使用)から、下記の分類を行った。

1. 覚せい剤等の使用経験がある方(1年以内に使用あり/ なし)
2. 上記はないが、ゴメオの使用経験はある方(1年以内に使用あり/ なし)
3. 上記はないが、ラッシュや脱法ドラッグ等の使用経験はある方(1年以内に使用あり/ なし)
4. 上記はないが、ED 薬の使用経験はある方(1年以内に使用あり/ 1年以内には使用なし)
5. いずれの薬物も使用経験のない方

### 【基本的属性】

基本的属性の表記は、年齢階級、感染経路、性別とした。性別は、「女性」と「性別その他」のみ記載し、とくに記載のない方はすべて「男性」である。

### 【用語】

覚せい剤等:覚せい剤、MDMA、ヘロイン、コカイン、大麻、注射針・注射器を使った薬物ラッシュ等:ラッシュ、脱法ドラッグ、シンナー

同性:同性間の性的接触

異性:異性間の性的接触

### 1. 覚せい剤等(覚せい剤、MDMA、ヘロイン、コカイン、大麻、注射針のいずれか)の使用経験がある方

(1-1)この1年以内に、覚せい剤等を使用した方

その時はよくても、結果がカラダには悪かった。

(20代、同性)

身を滅ぼすだけ。家族に心配かけるし、なにがあると薬に依存してしまう。絶対にやめるべきだし、やめてよかった。薬を使うとセーフセック

スは全くできなかった。気持ちよさを求めたため、HIVに感染したのも自業自得だと思う。

(50代、同性)

自己責任で使用するのは良いと思うけど遊んだ人に迷惑をかけたらいけないと思う。また薬物に対する知識や相談できる場所がどこなのかわからないので教えてほしい

(50代、同性)